

事業の概要

<公益目的事業>

I 社会経済史・経営史関連事業

- (1) 当文庫の紀要である『三井文庫論叢』の第47号(2013年)を刊行した。
- (2) 経済史・経営史にかかわる研究活動として、上記『三井文庫論叢』のほかに、三井文庫主催の研究会の開催、外部の学会・研究会等への参加(発表)、外部の学術雑誌への研究論文の発表などを行った。
- (3) 相続講関係資料、旧三井物産在米支店関係資料(米国国立公文書館所蔵)などの三井関係資料の調査・収集を進めた。
- (4) 資料保存のため、三井財閥「傘下」会社資料をマイクロフィルムで撮影した。また、マイクロフィルム劣化対策として複製の作成を進めた。
- (5) 三井関係映画フィルム、17本をデジタル動画化した。
- (6) 三井本社資料を新規公開した。
- (7) 所蔵資料分類目録の整理、所蔵図書目録のコンピュータ入力などを進めた。
- (8) 公的諸機関(地方自治体史編纂等)の資料調査、賛助会社等の広報活動・資料保存・社史編纂、報道関係の取材などに協力した。
- (9) 関係会社、資料保存関係者などの三井文庫見学を受け入れた。
- (10) 資料保存関係諸機関が開催する研修会・研究会などに参加した。
- (11) 三井文庫資料叢書「三井大坂両替店『聞書』2」について、原稿の作成・校正を進めた。
- (12) 科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金の交付(2件)を受け研究を進めた。

II 文化史・美術館関連事業

A. 文化史関係(資料の保管整理研究事業)

- (1) 展覧会図録を作成した。
 - 特別展図録『河鍋暁斎の能・狂言画』(三井記念美術館4月発行)
 - 特別展図録『大妖怪展一鬼と妖怪そしてゲゲゲー』(三井記念美術館7月発行)
 - 特別展図録『国宝「卯花塙」と桃山の名陶一志野・黄瀬戸・瀬戸黒・織部一』(三井記念美術館9月発行)
- (2) 三井美術文化史論集第7号を発刊した。
- (3) 国宝「熊野御幸記」と重要文化財「古林清茂墨跡」以上2点が、国庫金および東京都の補助金の支給を受けて、昨年度と今年度2年間にわたって修理され、今年度末に修理が完成した。

- (4) 三井不動産株式会社より、ららぽーと迎賓館「喜翁閣」に付属していた襖絵等3件の寄贈を受けた。
- (5) 故白根直子氏より、「両替年代記硯箱」等39件の遺贈を受けた。
- (6) 文化史資料の整理・調査・研究を行い、論文・解説の執筆、研究誌への投稿、各種学会・シンポジウムへの出席、他館・個人所蔵家等への資料調査などの活動を行った。
- (7) 他館における展覧会等に所蔵文化史資料を出品し、学術文化の振興に寄与した。

B. 三井記念美術館関係（資料の公開事業）

- (1) 今年度は、下記の6回の展覧会を開催したが、平成25年4月1日から平成26年3月31日までに合計151,940人が入館した。平成17年10月8日の開館以来の累計入館者数は1,356,595人となった。

- ①「三井家のおひなさま [特別展示] 酒のうつわ」

(平成25年4月1日～4月7日) 入館者数 2,331人

- ②「特別展 河鍋暁斎の能・狂言画」

(平成25年4月20日～6月16日) 入館者数 17,944人

- ③「<美術の遊びとところろVI> 特別展 大妖怪展 一鬼と妖怪そしてゲゲゲー」

(平成25年7月6日～9月1日) 入館者数 50,694人

- ④「特別展 国宝『卯花塙』と桃山の名陶 一志野・黄瀬戸・瀬戸黒・織部一」

(平成25年9月10日～11月24日) 入館者数 39,770人

- ⑤「楽茶碗と新春の『雪松図』」

(平成25年12月4日～平成26年1月25日) 入館者数 22,835人

- ⑥「三井家のおひなさま 特集展示『宴^{うたげ}のうつわ』」

(平成26年2月7日～3月31日) *会期終了日 4月6日

入館者数 18,366人

- (2) 各展覧会に合わせたワークショップを開催したほか、小・中学校の教職員研修会、親子鑑賞会、学校への出張講座、博物館実習生の受け入れなど、小中学生・高校大学生等を対象とする教育普及活動に積極的に取り組んだ。
- (3) 土曜講座・展示解説など、一般客を対象とした普及活動を行った。また、中央区の要請を受け、区民対象の生涯学習の場として「中央区民カレッジ」（合計6回）を前年に引き続き開催し、地域の文化振興に寄与した。

Ⅲ 松の茶屋保存公開事業

今年度は、茅葺屋根の葺き替え等屋根関係を中心に修復工事を実施した。

「公開」に関しては、箱根町文化財探訪会について箱根町教育委員会と連携して11月20日に午前午後と2回に分けて19名ずつ計38名の見学会を実施した。

また、昨年7月に箱根町郷土資料館で実施した箱根町内に残る近代の建築物や建造物の写真や図面を通じて、箱根町の近代化の様子を紹介する「箱根の登録文化財展」について協力した。

<収益事業>

I 不動産賃貸業

平成25年9月末に解約となった三井花桐ビル2階201号室は、平成26年2月に新規テナントが入居し全フロア満室となった。また、今年度は2階のOAフロア設置工事・中性能フィルター交換工事等を実施した。